

# 一括発注の実例(地域材利用を無理なく進める場合)

富山県入善町では、これまで一括発注で公共建築物の木造化を進めてきた。  
公衆トイレなど小規模木造建築物から始まった一括発注での実例を参考に、住民との合意形成から建設に至るプロセスを紹介する。



講 師 米田正秀(入善町建設下水道課 都市計画係)



講 義 日 2011年12月12日(月)



事 業 者 三重県木材協同組合連合会

◎素材生産量:0m<sup>3</sup>(平成22年)

◎人口:26,961人(平成22.10.1)

◎JAS製材工場数:2ヶ所(入善町内)

◎広さ:7,129ha(森林面積192ha)

◎製材量:不明

◎地域材の定義: —

## 1.木造化と建設検討委員会

入善町で公共建築物の木造化が始まったのは平成元年頃で、RC造の入善中学校の屋根改修がきっかけであった。この工事ではRC造の陸屋根だった屋上に、鉄骨小屋組による置屋根を設置し、軒の深い瓦屋根とした。こうした屋根の架け替えは中学校校舎2校で行われた。また同時に内装木質化を図った(表1)。

その後木造建築物が多く建てられてきた理由として、平成4年に実施した地区公民館の建設検討委員会(以下、委員会とする。)の組織化が挙げられる。委員会は、行政関係者、実際に施設を利用する地域住民などの代表者で組織し、類似施設の見学や、計画段階での利用者や周辺住民との施設の利用勝手や施設のあり方について意見交換会などを開催し、構想から計画に至る段階ごとに意見交換しながら、基本計画まで作成する。

委員会は、公民館など地域性の高い施設、学校や保育所など地域のシンボリックな施設を建設する際には必ず設けられるようになり、計画段階から住民が参加することで、施設への理解が深まり、成果を上げている。現在では町民からの施設の木造化に対する要望も多くなっている。

なお、現在は建築基準法、消防法を考慮し、設計に無理が生じない延べ面積1,000m<sup>2</sup>以下の建築物はまず木造で検討する方針としている。

表1 入善町の公共建築物への取り組み

| 平成元年～ | 学校校舎の置屋根改修 + 内装木質化            |           |                           |
|-------|-------------------------------|-----------|---------------------------|
| 平成7年  | 栢山いろり館(W)                     | 随意契約      | 昭和初期の一般的な家屋を改装            |
|       | 中央トイレ(W)                      | 基本計画 + 入札 | 中心市街地のトイレ・バス停施設           |
| 平成9年  | 桃李小学校(RC+W)                   | 随意契約      | 校舎及び体育館を集成材               |
|       | 山の本陣(W)                       | 随意契約      | 民家の移築                     |
| 平成11年 | 下山芸術の森ゲート棟(W)                 | 県選定       | まちの顔づくり事業                 |
|       | 児童センター(W)*                    | 基本計画 + 入札 | 純木造としては初めての建築物            |
| 平成12年 | 芦崎保育所(W)                      | 基本計画 + 入札 |                           |
| 平成14年 | 栢山保育所(W)*                     | プロポーザル    |                           |
|       | 再生広場(W)                       | 実施設計      | プラスチック・空き缶など再生資源をストックする場所 |
| 平成15年 | 栢山交流センター(W)*                  | 基本計画 + 入札 |                           |
|       | 運動公園休憩所(W)                    | 基本計画 + 入札 |                           |
|       | 公衆トイレ、再生広場など小規模の木造建築物が多く建設される |           |                           |
| 平成21年 | 花月公園トイレ(W)                    | 基本計画 + 入札 | 都市計画公園内                   |
|       | 新浜公園トイレ(W)                    | 基本計画 + 入札 |                           |
|       | ひばり野保育所                       | 基本計画 + 入札 | 小学校に増築 統合保育所              |
| 平成23年 | こあら保育所                        | プロポーザル    | 統合保育所                     |

※第4章「実例5 入善町の木造の公共建築物群」にて詳細を参照のこと。

## 2.木造公共建築物の発注形式に関する考え方

入善町で行われてきた事例は単年度事業で、木材発注については一括発注が基本となっている。行政の方針を以下に示す。

### ・計画・設計段階

設計者選定は、規模の大きいものはプロポーザル、規模の小さいものは入札、としている。規模の小さい入札案件の場合、委員会などで十分な議論の後に基本計画図を作成し、住民との合意後入札としている。基本計画内容及び住民の意向を理解するための経験や総合力が設計者には求められる。

### ・発注・工事

構造材の発注では、量・品質の確保が困難なため、地域材(入善町産材、以降同じ)を指定せず県産材や国産材指定としている。一方、内装木質化などで利用可能であれば、積極的に県産材を指定することも行っている。なお、入善町では地域材のみで公共建築物に必要な材・量を揃えることができないため、分離発注は実施していない。



中央トイレ(平成7年)



桃李小学校(平成9年)



児童センター(平成11年)



再生広場(平成14年)



栲山交流センター平成15年)



こあら保育所(平成23年)